

## 平成 30 年度事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

### 1. 事業実施の報告

東日本大震災から 8 年目となり、本年もこれまで同様四倉漁港及び四倉海岸を活かした観光交流拠点づくりに向けて行政と協働で取り組みながら、同時に他地域との広域交流等を通じて地元風評被害の払拭を図ることにより、地域の振興と活性化を図ってまいりました。

新たな令和の時代を迎え、情報化の進展や国際交流も更に進む一方、日本の持つ美点を活かしつつ、誰もが安心安全に暮らせる四倉町を創りあげていきたいと思えます。

これまで実施してまいりました各種の事業は、関係者が誇りを持ちつつ、外に開かれた意義深い事業であったと確信しております。

今後につきましても、これまで以上に地域の皆様との支え合い、誇りを持って次世代にバトンを渡せる、開かれた美しく住みやすい四倉町にするべく、いわき市北部の広域連携拠点構想に基づき立ち上げました「NSC協議会」の組織活動をさらに活性化し、いわき市北部地区・双葉郡南部の復旧、復興に向け、行政並びに他団体等の協働・連携により地域の復興支援に貢献してまいりたいと考えております。

#### (1) 農林漁業による地域の活性化を図る事業

「よつくら発ブルーツーリズム復興支援事業」

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、水産業の生産者は風評被害に苦しまされている中、道の駅よつくら港交流館直売所を中心に地産地消・消費拡大を図りました。

10月27日に「鮭・イクラづくり体験会」を開催しました。

11月24日25日に「海山味寄港」では奥会津の三島町等といわき・四倉との交流祭りとして、三島町等の奥会津の特産品などの物販を行いました。



議案第 1 号

平成 30 年度(第 10 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

同日には四倉町名産品の「ホッキ貝」の販売と、「ホッキ貝のむき・焼き」体験会を実施いたしました。(ブルーーツリズム活動外)

(2) まちづくりに関する他団体、行政、企業等との活動提携による地域活性化事業

-1.明日をひらく人づくり事業「港区交流事業 よつくら元気プロジェクト」

地域間交流を通して、いわき市の子も達が東京都港区の区民まつりに参加し、農産物等の風評被害払拭および広報活動を実施しました。



-2.明日をひらく人づくり事業「雪国交流事業 よつくら元気プロジェクト」

会津三島町のサイの神雪まつりにいわきの子も達が参加し、雪遊びを通して交流を図るとともに、奥会津地区に常磐もの水産加工物を販売及びお振舞することにより、水産加工物の風評被害払拭と広報活動を実施する予定で、2月9日10日で計画し参加者を募りましたが、インフルエンザの蔓延による参加予定者の大幅定員割れのため実施を取りやめました。



地域間交流事業「海と山の冒険隊」

四倉ふれあい市民会議と共同で、震災前から実施していたいわき市の親子と東京都港区の親子による地域間交流事業を実施いたしました。



## 議案第 1 号

平成 30 年度(第 10 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

### 東日本大震災遺児孤児支援事業

東日本大震災による遺児孤児や被災地域の子供たちを対象に保護者、地元地域社会の中で遺児孤児を育む拠点施設を建設し、保護者の方々、学校の先生方、地元の皆さんと一緒に、未来を担う子どもたちを暖かい愛で育み、子どもたちを支援することを目的として、遺児等への支援活動を継続して行うための施設「親子体験テント」「ねぶたの展示コーナー」「凧の展示コーナー」の維持管理を支援いたしました。



### 東日本大震災 3.11 祈りの集い事業の支援

平成 31 年 3 月 11 日(月)東日本大震災の追悼慰霊祭を道の駅よつくら港にて開催いたしました。千葉県市原市の有志の方からのお花もいただき献花台を設置いたしました。午後 2 時 46 分には約 50 名の市民と共に追悼を行いました。



### その他、まちづくり、地域活性化活動への参画

5 月開催の四倉諏訪神社例大祭での子供みこし、7 月開催の四倉ねぶたといわきおどりの夕べ、8 月の四倉鎮魂復興花火大会、11 月のよさこい DE ソーラン祭り、12 月開催のよつくりクリスマスへの協力、その他自衛隊広報キャラバンを始めとする地域貢献活動に積極的に参画いたしました。

## 議案第 1 号

平成 30 年度(第 10 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件



### (3) 道の駅よつくら港の運営

道の駅よつくら港はおかげさまでリニューアルオープンから 6 周年を迎えることとなりました。会員の皆様、地域の皆様には心より感謝申し上げます。

フードコートにおいては、海の見えるカウンター席の設置を行いました。

次にジェラート「KOU」の移転を行い、その跡地には寿司専門店のオープンを行いました。

## 議案第 1 号

平成 30 年度(第 10 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件



更にはラーメン店「よつから喜一」の本店である「喜多方喜一」が福島県民ラーメン総選挙で福島県第一位に輝き、その姉妹店であることを積極的に PR した結果大幅な売り上げ増を実現することができました。



また、本年 8 月にテナント契約満了期限を迎えることを契機に、将来の道の駅よつから港のあるべき姿を志向した契約内容・公募条件の整備を一昨年秋より行って参りました。既存テナントには優先的に事前説明会を行いました。その後公募申込書を基に個別の面接、試食会を数度にわたり実施し、理事長、副理事長において慎重に審議を重ね、新しいテナント契約条件で締結をいたしました。

直売所においては、地元的新鲜野菜果物、地元産品、お弁当の拡販に努め、他の同業者との差別化を意識した活動を実施いたしました。

販売促進活動としては、インターネットの有料広告機能を初めて活用し、毎月のおっかけ市「感謝祭」の PR を実施いたしました。また、福島空港・仙台市でのイベントに出店し PR 活動の強化を実施いたしました。



## 議案第 1 号

平成 30 年度(第 10 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

顧客満足度向上対策としては、新しいアンケート様式に変更し、直売所・フードコート別に具体的な評価と要望事項を把握できるようにいたし、その結果は毎週一回集約しております。同時にインターネット上でのクチコミ、評価の情報収集と相手方への返信活動も積極的に行い、その結果はテナント・従業員全員に回覧掲示し毎月の店舗会議を通じて改善活動につなげました。

従業員教育活動においては、毎年実施している防火・救命訓練の他に、今回初めて「研修旅行」と「職務遂行能力の自己申告シート」を作成し実施いたしました。パートタイマー従業員の多い当法人としては、人手不足の中において働き方改革の法令遵守と従業員一人一人の意識向上と多能工化がこれまで以上に大変重要になってくるものと考えております。



### (4) まちづくりに関する公共施設の管理、運営事業

道の駅よつくら港漁港施設管理業務委託

道の駅よつくら港漁港施設の維持管理に努め、環境美化活動を推進しました。



道の駅よつくら港情報館指定管理

道の駅よつくら港情報館はいわき市から委託され、道の駅利用者の利便性と情報提供を図ってきました。

議案第 1 号

平成 30 年度(第 10 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	支出額事業費 (千円)
農林漁業による地域の活性化を図る事業	よつくら発ブルーツーリズム復興支援事業	H30.10.1 ~ H31.3.31	いわき市 四倉町	6人	いわき市内外	410
まちづくりに関する他団体、行政、企業等との活動提携による地域活性化事業	明日をひらく人づくり事業 「よつくら元気プロジェクト」	H30.7.1 ~ H31.3.31	東京都 港区 福島県 三島町	7人	いわき市内	350
	その他事業	H30.4.1 ~ H31.3.31	いわき市	50人	いわき市内外	1,060
まちづくりに関する公共施設の管理、運営事業	道の駅よつくら港漁港施設管理業務委託	H30.4.1 ~ H31.3.31	いわき市 四倉町	5人	いわき市内外	3,450
	道の駅よつくら港情報館指定管理	H30.4.1 ~ H31.3.31	いわき市 四倉町	3人	いわき市内外	8,647
まちづくりに関する広報誌、情報交換、情報発信事業	ホームページ、イベント等の交流広報活動	H30.4.1 ~ H31.3.31	いわき市 四倉町	2人	いわき市内外	125

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	支出額事業費 (千円)
物品の販売事業	道の駅よつくら港交流館直売所	H30.4.1 ~ H31.3.31	いわき市 四倉町	6人	いわき市内外	176,600
施設管理運営事業	道の駅よつくら港交流館	H30.4.1 ~ H31.3.31	いわき市 四倉町	10人	いわき市内外	39,900

## 議案第 1 号

平成 30 年度(第 10 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

### 3 損益の概況

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

特定非営利活動に係る事業におきましては、年々助成金事業の支給打ち切りや縮小の傾向が進んでおります。

そのような環境下において、会員の拡大による会費収入の増を実現することができましたが、今後も安定して事業を継続するためには、さらなる会員の拡大の一方、活動事業自体の「選択と集中」及びこれまでと異なる「実施方法の見直し」が不可欠であります。

その結果、収益は 15,383 千円(前年比 - 2,584 千円 14.6%減)、経常増減額は - 2,037 千円(前年比 - 1,507 千円)となりました。

#### (2) その他の事業

その他の事業におきましては、道の駅よつくら港の運営事業の安定収益確保が最大の使命であり、売上拡大策・コスト改善策の両輪で経営活動を行っております。

売上拡大策においては、地場産品と弁当への特化とフードコートの活性化を実現するため、店舗会議の充実・顧客満足度向上対策の強化による従業員およびテナントの意識改革対策の実行、インターネットを活用した見込み客への PR 活動に重点を入れました。

コスト改善策については、定休日の設定および閑散期である冬期営業時間の短縮による固定費の削減、不採算事業の中止、テナントをはじめとする契約内容の見直し、などを実施いたしました。

次に設備投資については、2 階フードコートの海に見えるカウンター席、ソフトクリーム・飲料店舗の移設を実施した結果、前年比増となりました。

その結果、売上高は操業日数、総営業時間数の減少にも関わらず 224,462 千円(前年比 + 2,896 千円 1.3%増)、経常増減額は + 8,024 千円(前年比 + 2,036 千円 34%増)となりました。

